

大門自治会 防災計画 (第3版)

基本方針：**1. 自分の命は、まず自分で守りましょう**
2. 地域で助け合い、災害に備えましょう

<大門自治会の皆さまへ>

大門自治会 防災計画(第3版)を策定しました。令和5年8月に初版を策定し、皆さまに「もしもの時の自治会防災活動」について、理解を深めて頂きました。昨年8月には第2版をお届けしましたが、第3版は「より実践に役立つ」内容となるよう見直しを行いました。

30年以内に「南海トラフ地震」が起きる確率が80%と報道されました。防災計画(第3版)では、大門自治会で可能性があるとされる

- <1. 地震が起きた時、あなたはどうする>
- <2. 火災が発生した時、あなたはどうする>
- <3. 水害の危険が迫った時、あなたはどうする>

について、皆さまの「基本的対応」を最初に記載しました。

令和 7 年 8 月 24 日

大門自治会 防災士チーム

防災計画は、もしものに備え
ご家庭で保管願います。

防災計画は自治会ホームページ
からも、ご覧になれます。



1. 「地震に対する基本的な対応」



地震が起きた時
自分がとる動きを
身につけましょう



地震発生

- 机の下などへもぐり、まずは自分の身を守る。
- 机などが無い場合は、姿勢を低くし、頭部を守る。

- 家族の安全を確認する。
- 揺れがおさまったら火元を確認する。
- ドアや窓を開けて、逃げ道を確保する。
- 足を保護するため、室内でも靴を履く。

1~3分

- 非常持出品を準備する。
- 近隣の高齢者や、乳幼児がいる家には積極的に声をかけ安全を確認する。
- ラジオなどで情報を収集する。

3~5分



- 家を出る前に、ガスの元栓を閉め、電気のブレーカーを切る。
- 避難時、車は使わない。

5~10分



- 隣近所で協力して消火や救出活動を行う。

10分~数時間



~3日程度



- 3日程度は、外部からの応援は期待できないため、生活は備蓄品でまかなう。
- 災害や被害の情報を集める。
- 自主防災組織を中心に行動する。
- 壊れた家には近づかない。
- 集団ルールを守る。

「震度を知りましょう」→震度に応じ適切な避難方法を判断!! P.3

| 気象庁震度階級 | | | |
|---------|--|--|--|
| 震度階級 | 人間 | 屋内の状況 | 屋外の状況 |
| 0 | 人は揺れを感じない。 | | |
| 1 | 屋内にいる人の一部がわずかな揺れを感じる。 | | |
| 2 | 屋内にいる人の多くが揺れを感じる。眠っている人の一部が目覚めます。 | 電灯などのつり下げ物がわずかに揺れる。 | |
| 3 | 屋内にいる人のほとんどが揺れを感じる。恐怖感を覚える人もいる。 | 棚にある食器類が音を立てることがある。 | 電線が少し揺れる。 |
| 4 | かなりの恐怖感があり、一部の人は身の安全を図ろうとする。眠っている人のほとんどが目覚めます。 | つり下げ物は大きく揺れ、棚にある食器類は音を立てる。座りの悪い置物が倒れることがある。 | 電線が大きく揺れる。歩いている人も揺れを感じる。自動車を運転していて、揺れに気付く人がいる。 |
| 5 弱 | 多くの人が身の安全を図ろうとする。一部の人は行動に支障を感じる。 | つり下げ物は激しく揺れ、棚の食器類、書棚の本が落ちることがある。家具が移動することがある。 | 窓ガラスが割れて落ちることがある。電柱が揺れるのがわかる。補強されていないブロック塀が崩れることがある。道路に被害が生じることがある。 |
| 5 強 | 非常な恐怖を感じる。多くの人が行動に支障を感じる。 | 棚にある食器類、書棚の本の多くが落ちる。テレビが台から落ちることがある。タンスなど重い家具が倒れることがある。変形によりドアが開かなくなることがある。一部の戸が外れる。 | 補強されていないブロック塀の多くが崩れ、据付が不十分な自動販売機が倒れることがある。多くの墓石が倒れる。自動車の運転は困難となり、停車する車が多い。 |
| 6 弱 | 立っていることが困難になる。 | 固定していない重い家具の多くが移動、転倒する。開かなくなるドアが多い。 | かなりの建物で壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。 |
| 6 強 | 立っていることができず、はわないと動くことができない。 | 固定していない重い家具の多くが移動、転倒する。戸がはずれて飛ぶことがある。 | 多くの建物で壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。補強されていないブロック塀がほとんど崩れる。 |
| 7 | 揺れにほんろうされ、自分の意思で行動できない。 | ほとんどの家具が大きく移動し、飛ぶものもある。 | ほとんどの建物の壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。補強されているブロック塀も破損するものがある。 |

- ① 「自分の体感で感じる」「まわりの状況」から震度を推定しましょう。
- ② 「マスコミ等が報道する震度」から被害状況を知り、避難しましょう。

2. 「火災発生時の基本的な対応」

下呂市ホームページより

● 早く知らせる

発見

- ① 「火事だーッ」と大声で叫ぶ!!
- ② 動転して声が出なかったら、やかんやなべなどをガンガンたたいて、近所の人たちの助けを求めろ。
- ③ 小さな火だと思っても、1人で又は家族だけで消そうとしないことが大切。



通報

いざというときに備えて自宅の電話のそばに119番通報メモをはっておきましょう。



通報するときは「あの、その、早く早く!」では困ります。正確に住所と名前を伝えましょう。



落ち着いて連絡します

● 早く消す

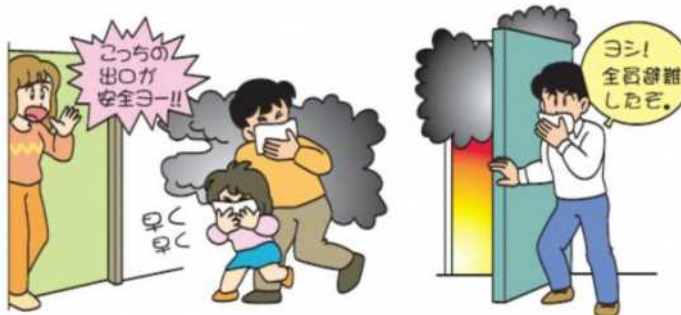


火の小さいうちに、勇気をもって初期消火に当たる。

- ① 消火は出火から3分以内が勝負。炎を恐れず勇気を出して、落ち着いて初期消火をする。
- ② 初期消火とは、火が天井面に移る前に消火することです。(消火器は下から、水バケツは上から消火する。)
- ③ 消火に使うものは消火器や水だけでなく、身近なものを何でも活用して、素早い対応を。

初期消火は、決して無理をしない

● 早く逃げる

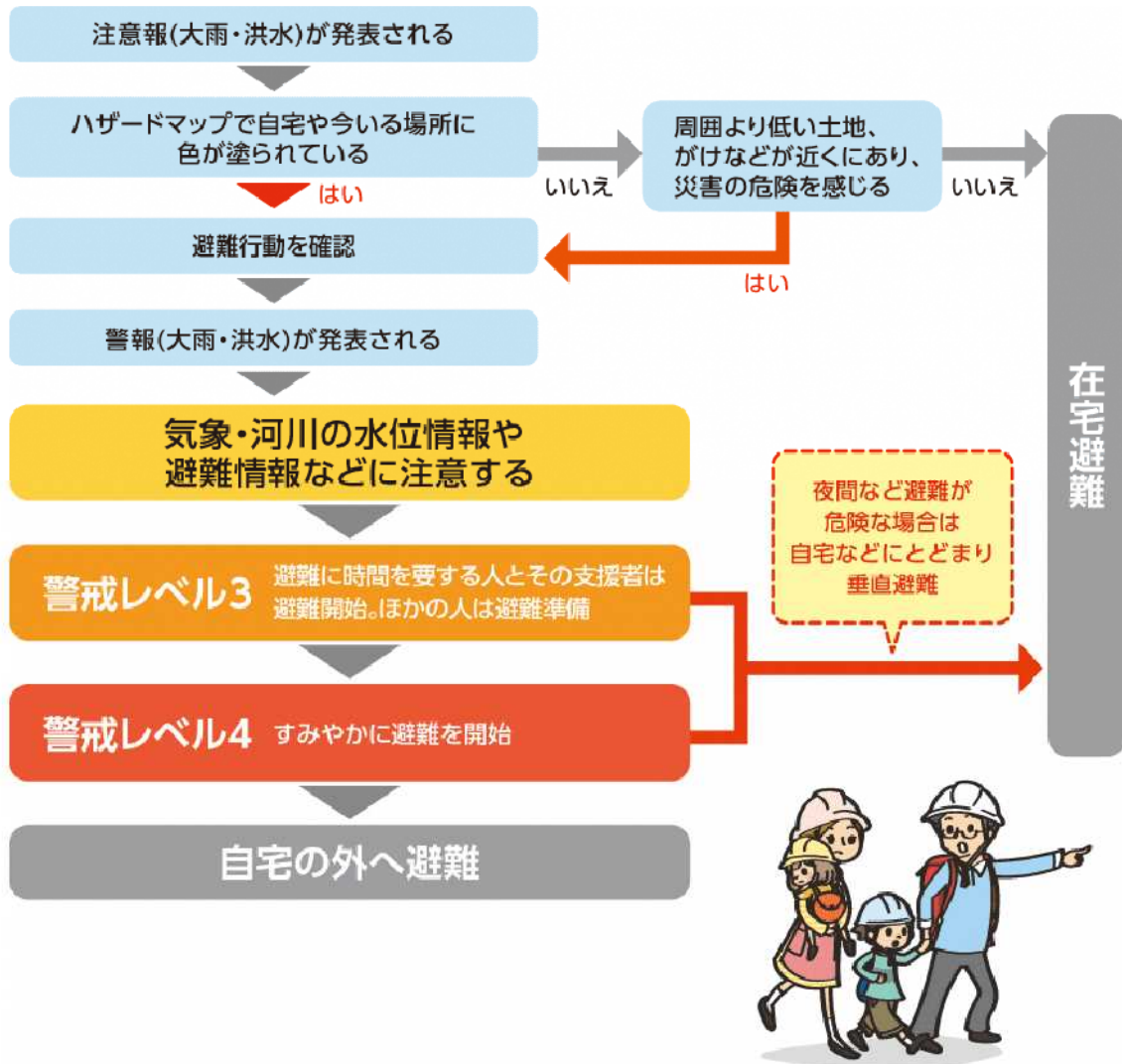


避難は早く安全に。

- ① 天井に火が燃え移ったら、素人の手には負えない。的確に判断して、早めに避難する。
- ② 避難するときは、できるだけ燃えているところの窓やドアを開める。

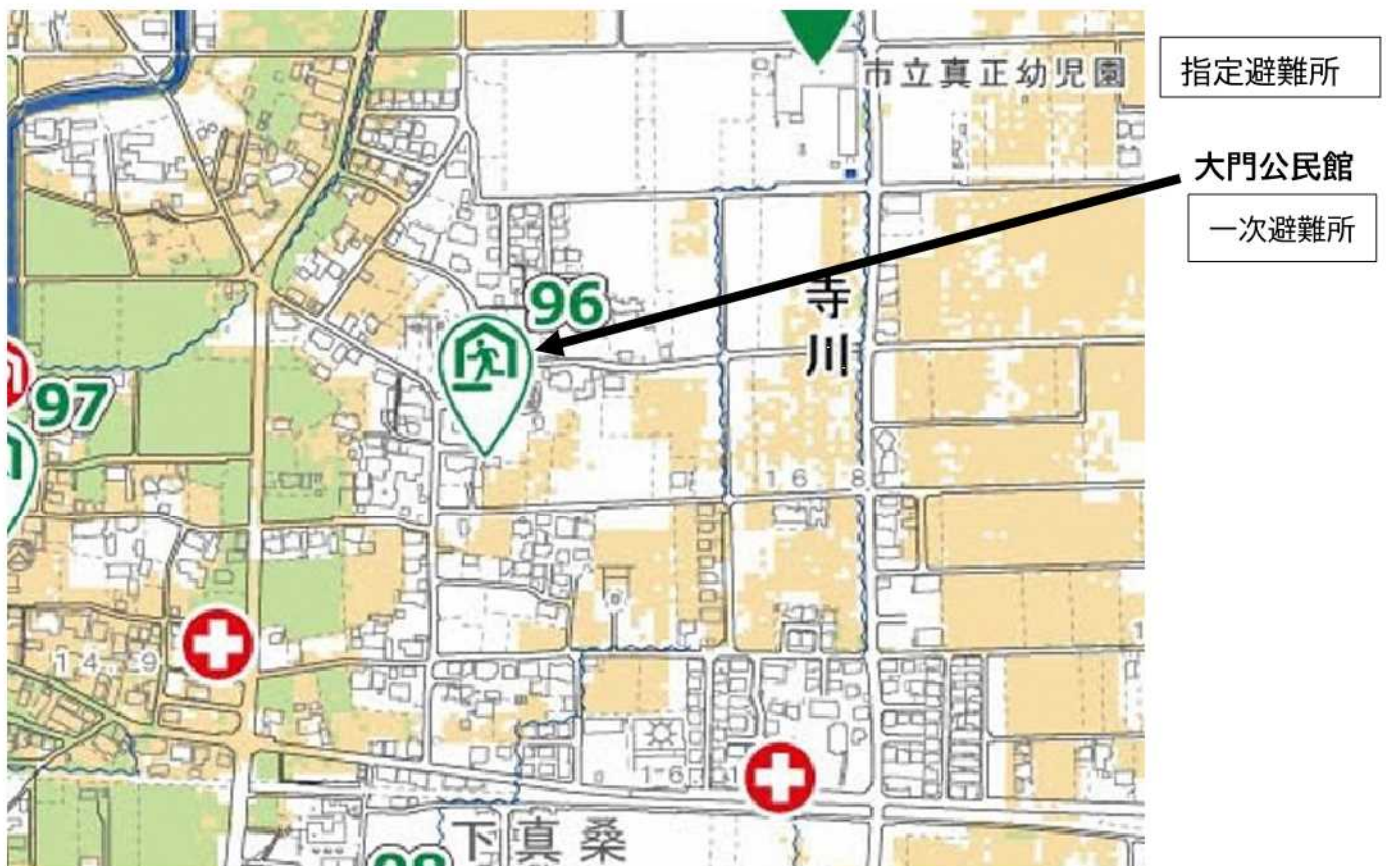
姿勢を低く、煙と熱に充分注意して避難しましょう

3. 「水害への基本的な対応」

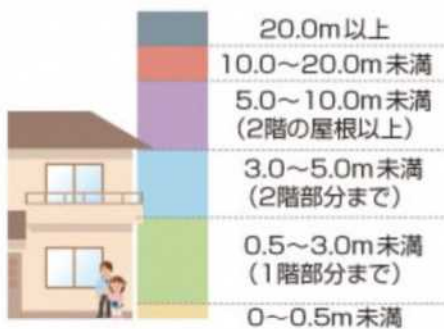


| 警戒レベル | 状況 | 住民がとるべき行動 | 行動を促す情報 |
|--------------------|--------------|---------------------------------|-------------------|
| 5 | 災害発生 又は切迫 | 命の危険 直ちに安全確保！ | 緊急安全確保 |
| < 警戒レベル4までに必ず避難！ > | | | |
| 4 | 災害のおそれ高い | 全員避難 | 避難指示 |
| 3 | 災害のおそれあり | 高齢者、障がい者等とその支援者は避難、その他の住民は避難の準備 | 高齢者等避難 |
| 2 | 気象状況悪化 | 避難に備え、ハザードマップ等により自らの避難行動を確認 | 大雨・洪水注意報 (気象庁) |
| 1 | 今後気象状況悪化のおそれ | 災害への心構えを高める | 早期注意情報 (気象庁) |

本巢市洪水ハザードマップ^o（大門自治会付近）



洪水浸水想定区域（浸水する深さ）



大門自治会は「洪水ハザードマップ」では浸水地域から除外される箇所が多いですが、内水氾濫の危険もあり避難には充分注意願います。

<浸水の形態>

ケース1：犀川決壊による浸水。上記ハザードマップは犀川決壊を想定

ケース2：内水氾濫（ないすいはらん）

強い雨がが続くと、雨水がはけきらずに地面に溜まります。

低いところには周囲から溜まった水が流れ込んできて、

排水用の水路や小河川が水位を増して起こる洪水。

防災施設への避難にあたっては、浸水危険個所を回避しましょう

3. 地区の概要

(1) 地区の特徴

①地区の範囲

この防災計画は、本巢市大門自治会地区を対象としています。

②地区の社会特性

- ・人口： 745 名
(他にアパート 約 40 名)
 - ・世帯数： 251 世帯
(他にアパート 22 世帯)
- (令和 7 年 8 月現在)

大門自治会は農業地帯に位置しますが、近年、宅地分譲が進んで、入居者が急増しています。1995 年：約 120 世帯→2025 年：251 世帯
自治会活動は 1～9 班の班を基盤として行われ、各班における相互の結びつきは強い。旧来の農業従事者は減少して圧倒的にサラリーマン世帯が占め、夫婦とも仕事に従事している場合が多く、昼間は留守家庭化しています。一方、75 歳以上が 86 名と高齢化も進んでいます。

③地区の災害リスク

～「災害リスク」は比較的低いものの、油断はできません～

大門自治会は、内陸地域で平坦地に位置し、地盤が固くやや高いため、
<少し安心> 大地震による津波や土砂崩れのリスクは低いと予想されます。

- <注意が必要>
1. 大地震による建物の損壊、それに伴う火災の発生
 2. 局地的な豪雨による水害や暴風雨による建物の損壊
 3. 主に失火に起因する火災
 4. 上記 1.～3.に伴うライフラインの寸断（電気、水道）

| 災害種別 | 想定 | 対策 |
|-------|---|--|
| 地震・火災 | 30年間に80%の確率で起こると予想される「南海トラフ地震」と地震に伴う建物の損壊・火災発生 | 1.常日頃から地震への対策、準備 2.自治会を中心とした地震対策 3.大地震を想定した防災訓練実施 |
| 風水害 | 1.地球温暖化による異常気象で、集中豪雨の可能性が高くなる 2.伊勢湾台風から63年経過 | 1.気象、避難情報等を確実に入手 2.ハザードマップから避難路確認 3.避難時に持出す各種用品の準備 |
| 火災 | 各種失火要因(台所、漏電、仏壇等)による火災の発生 | 1.常日頃から「火の用心」徹底 2.消火器、消火栓等防火施設確認 3.定期的な防火訓練の実施 |

【参考】地区の過去の災害

| 災害名称及び災害発生年月日 | 災害による被害状況と当時の状況 |
|-------------------------------------|---|
| 1891年10月28日 濃尾地震 (今から134年前) | 根尾谷を震源としたマグニチュード8.0の巨大地震で、日本史上最大の直下型地震といわれます。最大震度は7、当時の建物はほとんど倒壊しました。死者7,273人、負傷者17,175人、全壊家屋142,177戸。真正地域の被害に関する記録は「真正町史」に記載されています。大きな被害が出ました。 |
| 1959年9月26日 伊勢湾台風 (今から66年前) | 潮岬に929hPaで上陸し、紀伊半島から東海地方を縦断した猛烈な台風。伊勢湾沿岸の愛知県、三重県で被害が甚大で、死者・行方不明者は5,000人を超え、明治以降の日本で史上最大の台風災害を引き起こした。大門自治会でも大変な被害が発生し、70歳以上の方は鮮明に記憶されています。 |
| 1976年9月12日 9.12豪雨災害 (今から49年前) | 台風17号の影響で9月7日から降り続いた雨は、美濃地方の平野部で集中豪雨となって、河川の氾濫や土砂崩れ、安八町の長良川堤防の決壊を招きました。 浸水家屋は美濃地方で3,536世帯となり、大門地域でも床下浸水の被害が出ました。 |

(1) 活動目標

防災計画の基本方針にあるとおり

- ① 自治会の皆さん一人一人が、日頃から「自分の命は自分で守る活動」を身につけることを目標とし、災害発生時の初動体制を目指します。
自分の命を守る活動を一人一人が行いつつ、
- ② 自治会組織を通じて、地域で助け合い、「災害時の対応」さらには「災害からの復旧」に、地域として取り組む体制作りを目指します。
- ③ 災害発生時には、普段の訓練と準備を活かし、自治会の皆さんの命と財産を守るため、地域全体が協力して活動することを目指します。

(2) 活動体制

防災活動を行うため、大門自治会自主防災組織を設置します。

<大門自治会自主防災組織>

| 組織での役割 | 平常時の防災活動 | 災害時の防災活動 |
|---------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|
| 総務担当 (会長・副会長・会計) | 組織全体の調整 他機関との連絡・調整 防災計画の策定 | 組織全体の調整 他機関との連絡・調整 被害・避難状況把握・対応 |
| 情報担当 | 情報の収集・伝達 広報活動(防災体制強化) | 状況把握(避難者、被害) 報告活動 |
| 消火担当 | 防火施設・防火器具点検 防火に関する広報活動 消防団との連携 | 初期消火活動 |
| 避難誘導担当 | 避難路(所)標識点検 | 自治会員の避難誘導活動 |
| 給食・給水担当 | 器具・保存食の点検 | 水・食料等の配分 炊き出しによる給食・給水 |
| 救出・救護担当 | 防災資機材調達・整備 | 負傷者・不明者の救出活動 救護活動 |
| 女性防火クラブ | 広報活動、消火訓練 | 初期消火活動 |

各年度の「大門自治会自主防災組織名簿」は年初の総会資料に記載

| 項目 | 具体的内容 | 実施時期 |
|--------|---|-------|
| 広報活動 | 1.地震に備え家財の補強や地震時の姿勢等を、広報活動にて皆さんにお願いします 2.日頃から「火の用心」を呼びかけ、消火施設の位置、使用方法の習得を図ります 3.災害に備え、各家庭での備蓄品準備や避難時に持出す用品の確認を依頼します 4.防災への意識の向上を呼びかけます | 随時 |
| 防災訓練 | 1.災害発生時の避難を実際に行います 2.災害対策名簿による避難者の確認実施 3.防火施設、機器使用による消火訓練 4.炊き出しによる給食訓練を実施 5.防災専門家を招聘し、防災知識の習得 | 年 1 回 |
| 防災対策準備 | 1.防火施設の点検。(消火栓、ホース等) 2.非常用食品、機材等の確認・補充 | 随時 |
| ご近所確認 | 災害発生に備え、「ご近所確認」を励行 | 随時 |

(4) 災害時における防災活動

| 活動名 | 担当 | 活動内容 |
|----------------------|-----|--|
| 自己防災 (自分の命は自分で守る) | 各個人 | 1.地震時 ①頭を保護し、身を守る ②あわてて外に飛び出さない ③火を消す 2.風水害 ①風水害情報を確実に入手 ②避難のタイミングを確認 ③危険地域を回避して避難 3.火災時 ①火災を周囲に知らせる ②煙を吸わないように避難 |

| 活動名 | 担 当 | 活動内容 |
|-------|-------|---|
| 避難・誘導 | 避難・誘導 | <ol style="list-style-type: none"> 1.自宅等が危険な状況になった時、大門公民館へ避難を開始します 2.避難は一人でも、近所の方とでも良いですが、安全な経路を選び避難します 3.非常時の持出し用品を持参し、地震の際は、必ず火元の確認をお願いします |
| 避難者確認 | 総務情報 | <ol style="list-style-type: none"> 1.「自治会災害対策名簿」に基づき、避難者の確認、未避難者の調査を行います 2.避難者確認により救助や手当が必要な方がある場合は、救出・救護班に連絡 3.災害に関する情報の入手に努めます |
| 救出・救護 | 救出・救護 | <ol style="list-style-type: none"> 1.救助や手当が必要な方の対応を実施 2.専門的なスキルが必要な場合は、救援の機関(消防、自衛隊、医師等)と連絡 3.高齢者、病弱者、子供等弱者への対応 |
| 給食・給水 | 給食・給水 | <ol style="list-style-type: none"> 1.水・食料等の配分 避難者の数、救助物資の到着時期を勘案し、備蓄された水・食料の配分を実施 2.自治会内での食料調達 各家庭で備蓄している食料を調達 3.炊き出しを実施し、給食・給水活動 |
| 消火活動 | 消火 | <ol style="list-style-type: none"> 1.火災状況の確認、避難者誘導 2.消防に協力し、消火活動（消防主体） |

5. 防災施設

避難所

| 類 別 | 施設名 | 住 所 |
|-------|-----------|-----------------|
| 一次避難所 | 大門公民館（新館） | 本巢市下真桑 506 番地 1 |
| 指定避難所 | 真正幼稚園 | 本巢市下真桑 443 番地 2 |

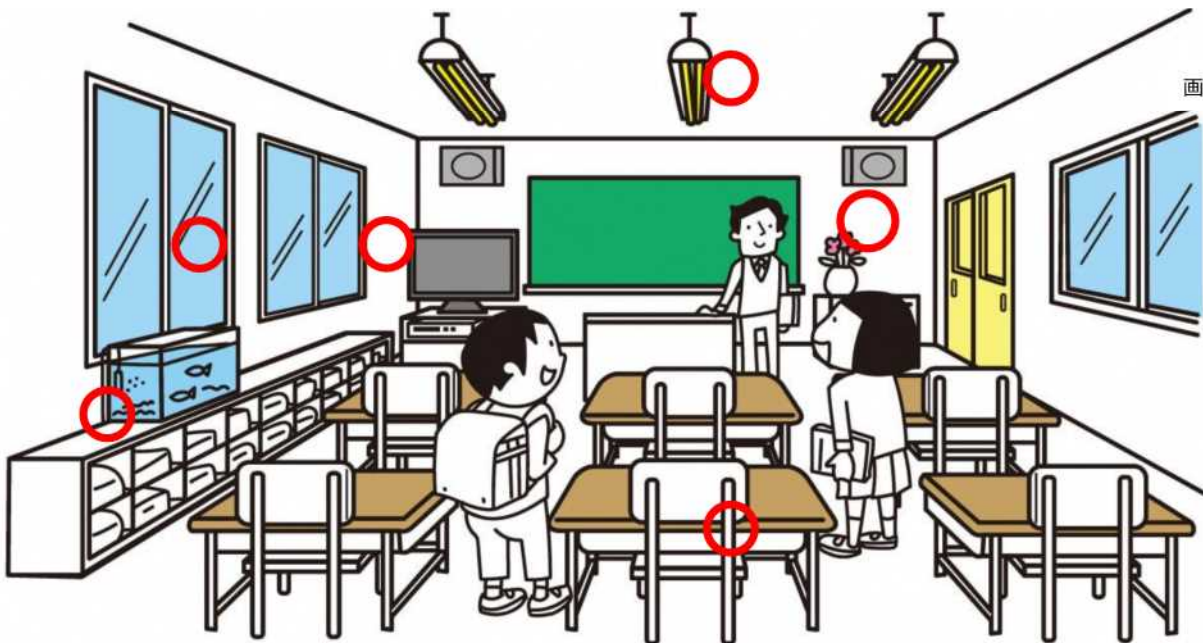
以上

くみんかいぎ 「ふれあい区民会議」(2024.7.14) NO.1

しょうちゅうがくせい
～ 小中学生による5グループの討議から提案された事項を掲載～

きけん じしん
「どこが危険？」 「地震がきたら、あなたはどうする？」

<教室>



じしん とき きけん かんが ばしよ
1. 地震がきた時、危険と考えられるところ・場所はどこですか？

- ① 落ちてくる : であん けいこうとう か
 電灯(蛍光灯)、テレビ、花びん、スピーカー
- ② 割れる : まど すいそう
 窓ガラス、水槽
- ③ 倒れる : つくえ
 机、いす

じしん とき じぶん まも
2. 地震がきた時、「どのように自分を守りますか？」

- ① つくえ つくえ
 机の下にかくれる。机やいすをおさえる
- ② あたま あたま
 カバンやランドセルで頭を守る。頭をおさえる
- ③ まど か はな はな
 窓ガラスや花びんから離れる

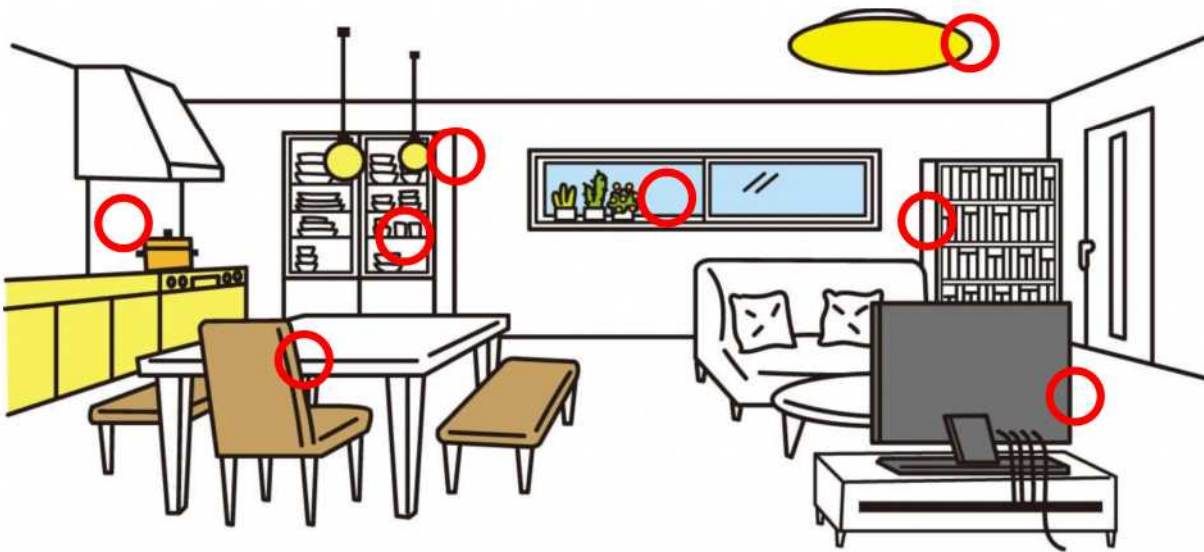
くみんかいぎ 「ふれあい区民会議」(2024.7.14) NO.2

しょうちゅうがくせい
～ 小中学生による5グループの討議から提案された事項を掲載～

きけん じしん
「どこが危険？」「地震がきたら、あなたはどうする？」

いま <居間>

画像:岐阜県



じしん とき きけん かんが ばしよ
1. 地震がきた時、危険と考えられるところ・場所はどこですか？

- ① 落ちてくる : しょうめい けいこうとう なべ うえきばち
照明(蛍光灯)、鍋、植木鉢
- ② 割れる : まど しょうきたな さら
窓ガラス、食器棚のお皿
- ③ 倒れる : しょうきたな ほんだな テレビ、いす
食器棚、本棚、テレビ、いす

じしん とき じぶん まも
2. 地震がきた時、「どのように自分を守りますか？」

- ① テーブルの下にかくれる
- ② 火を消す。火を消してから避難する
- ③ しゃがんで頭をかかえる。クッションで頭を守る
- ④ 危ない物から離れる

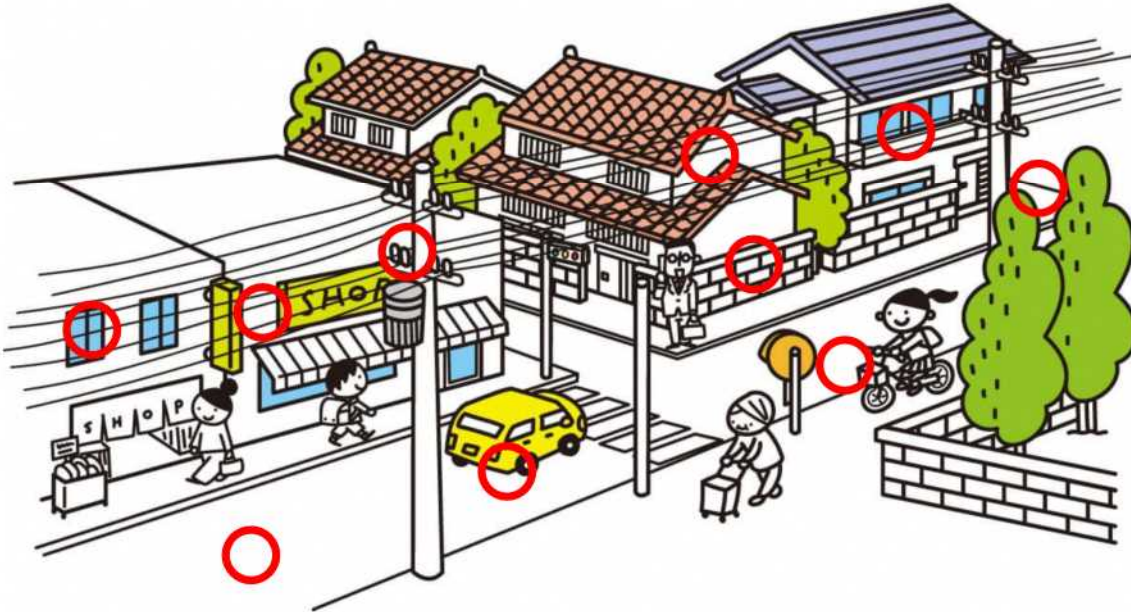
くみんかいぎ 「ふれあい区民会議」(2024.7.14) NO.3

しょうちゅうがくせい とうぎ ていあん じこう けいさい
～ 小中学生による5グループの討議から提案された事項を掲載～

きけん じしん
「どこが危険?」「地震がきたら、あなたはどうする?」

つうがくろ
＜通学路＞

画像：岐阜県



じしん とき きけん かんが ぼしよ
1. 地震がきた時、危険と考えられるところ・場所はどこですか？

- ① 落ちてくる : 屋根のかわら、かんばん、ブロック、窓ガラス
- ② 倒れてくる : 電柱、へい、信号機、樹木、
- ③ 垂れ下がる : 電線
- ④ その他 : 道路に段差・穴、自動車・自転車の運転困難

じしん とき じぶん まも
2. 地震がきた時、「どのように自分を守りますか?」

- ① 建物の近くから離れる。倒れるもののない所へ行く
- ② 物の少ない所へ行く。広場や公園の真ん中へ行く
- ③ 自転車からおりる。自動車から離れる
- ④ しゃがんで頭を守る

非常時の持ち出し品・備蓄品

チェックリスト

災害時の救助や
救援物資の到着までに
最低限必要なものは
準備しておきましょう

ポイント



- 持ち出し品は、両手が使えるリュックタイプの袋などにまとめておきましょう
- 避難の妨げにならないように、軽くコンパクトにまとめましょう
- 自分や家族の状況に合わせて必要なものを選みましょう
- 自分に必要なものの優先順位を決めて準備しましょう
- 定期的な中身をチェックしましょう

貴重品

- 現金（小銭を含む）※ 公衆電話用に10円玉、100円玉
- 車や家の予備鍵
- 予備の眼鏡、コンタクトレンズなど
- 銀行の口座番号・生命保険契約番号など
- 健康保険証、お薬手帳
- 身分証明書（運転免許証、パスポートなど）
- 印鑑
- 母子健康手帳

- アルミ製保温シート
- 毛布
- スリッパ
- 軍手、皮手袋
- マッチ、ライター
- 給水袋
- 雨具（レインコート、長靴など）
- レジャーシート
- 簡易トイレ

情報収集用品

- 携帯電話・スマートフォン（充電器を含む）
- 携帯ラジオ（予備電池を含む）
- 家族の写真（はぐれた時の確認用）
- 緊急時の家族、親戚、知人の連絡先
- 広域避難地図（ポケット地図でも可）
- 筆記用具

清潔・健康のためのもの

- 救急セット
- 常備薬・持病薬
- タオル
- トイレットペーパー
- 着替え（下着を含む）
- ウェットティッシュ

食料など

- 非常食
- 飲料水

便利品など

- 防災ずきん、ヘルメット
- 懐中電灯（予備電池を含む）
- 笛やブザー（音を出して居場所を知らせるもの）
- 万能ナイフ
- 使い捨てカイロ
- マスク
- ビニール袋

その他

- 紙おむつ（幼児用・高齢者用など）
- 生理用品
- 粉ミルク・哺乳瓶（赤ちゃんに必要なもの）
- その他自分の生活に欠かせないもの

ご自身の環境に合わせて必要なものを準備してください



大門自治会の皆さまへ

災害はいつやってくるか？わかりません。もしもに備え

1. 自分の命は、まず自分で守りましょう
2. 地域で助け合い、災害に備えましょう

令和7年8月 大門自治会

防災計画は、もしもに備え、ご家庭で保管願います。